

※05.12.14 第1回当別町空家等対策協議会資料

当別町の空家の現状について

(令和5年12月1日現在)

当別町住民環境部環境生活課



空家台帳における指標の見直しについて

これまでは「倒壊危険度」という指標に基づき、A～Cの3段階で評価を行ってまいりましたが、すでに倒壊したものは評価が低く設定される一方、郊外に所在していて周囲への影響が小さいものであっても倒壊の可能性があれば評価が高く設定されたりと、空家対策上の優先順位が直感的に把握しにくい指標となっていたため、令和5年度より「建物の状態（建物の傷みの度合い）」「管理可能性（所有者対応の可能性）」「影響度（周囲への影響の度合い）」の3指標により評価することとし、空家台帳の見直しを行いました。

<見直し前>

判定	倒壊危険度
A（高）	10
B（中）	13
C（低）	49
合計	72



指標を細分化して現状把握しやすくなるよう見直し

<見直し後>

判定	建物の状態	管理可能性	影響度
A	30	2	11
B	19	1	14
C	8	26	20
D	15	41	27
判定不能	0	2	0
合計	72	72	72

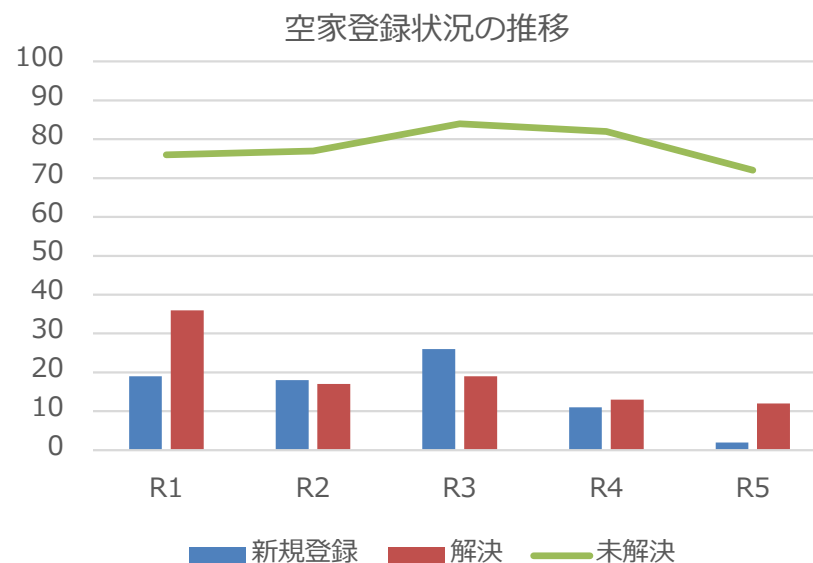
※管理可能性の「判定不能」には、抵当権等により所有者が自由に処分できない物件が該当



空家の登録・対応状況について

<登録状況の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
未解決	76	77	84	82	72
新規登録	19	18	26	11	2
解決	36	17	19	13	12
解体・撤去	10	5	8	6	6
入居	25	5	7	4	2
不動産事業者への管理移行	0	3	2	1	2
所有者による使用・管理	1	4	2	2	2
その他	0	0	0	0	0



<対応状況の推移>

	R1	R2	R3	R4	R5
対応件数	48	86	91	115	34
適正管理文書	43	49	53	80	26
その他文書	0	10	5	13	0
窓口	3	5	3	0	2
電話	2	22	30	22	6
その他	0	0	0	0	0

